

III 調查結果

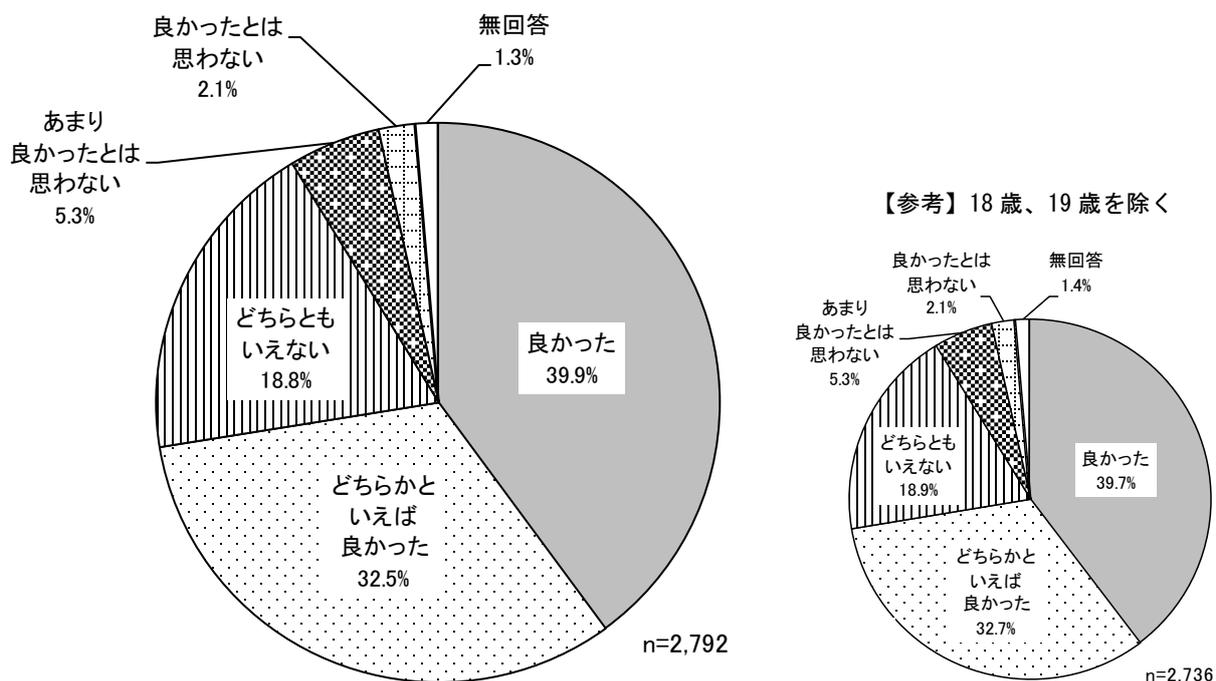
1. 定住意向

(1) 八王子市に住んで良かったと思うか

◇《良かった》が7割強

問1 あなたは、八王子市に住んで良かったと思いますか。(○は1つだけ)

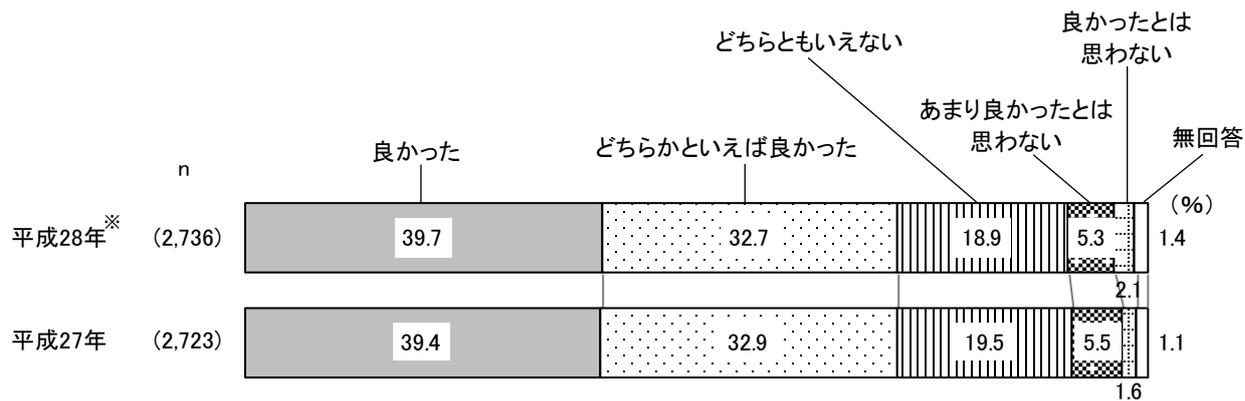
図1-1-1 八王子市に住んで良かったと思うかー全体



八王子市に住んで良かったと思うか聞いたところ、「良かった」(39.9%)と「どちらかといえば良かった」(32.5%)を合わせた《良かった》(72.4%)は7割強となっている。「どちらともいえない」(18.8%)は2割近くで、「あまり良かったとは思わない」(5.3%)と「良かったとは思わない」(2.1%)を合わせた《良かったとは思わない》(7.4%)は1割近くとなっている。

(図1-1-1)

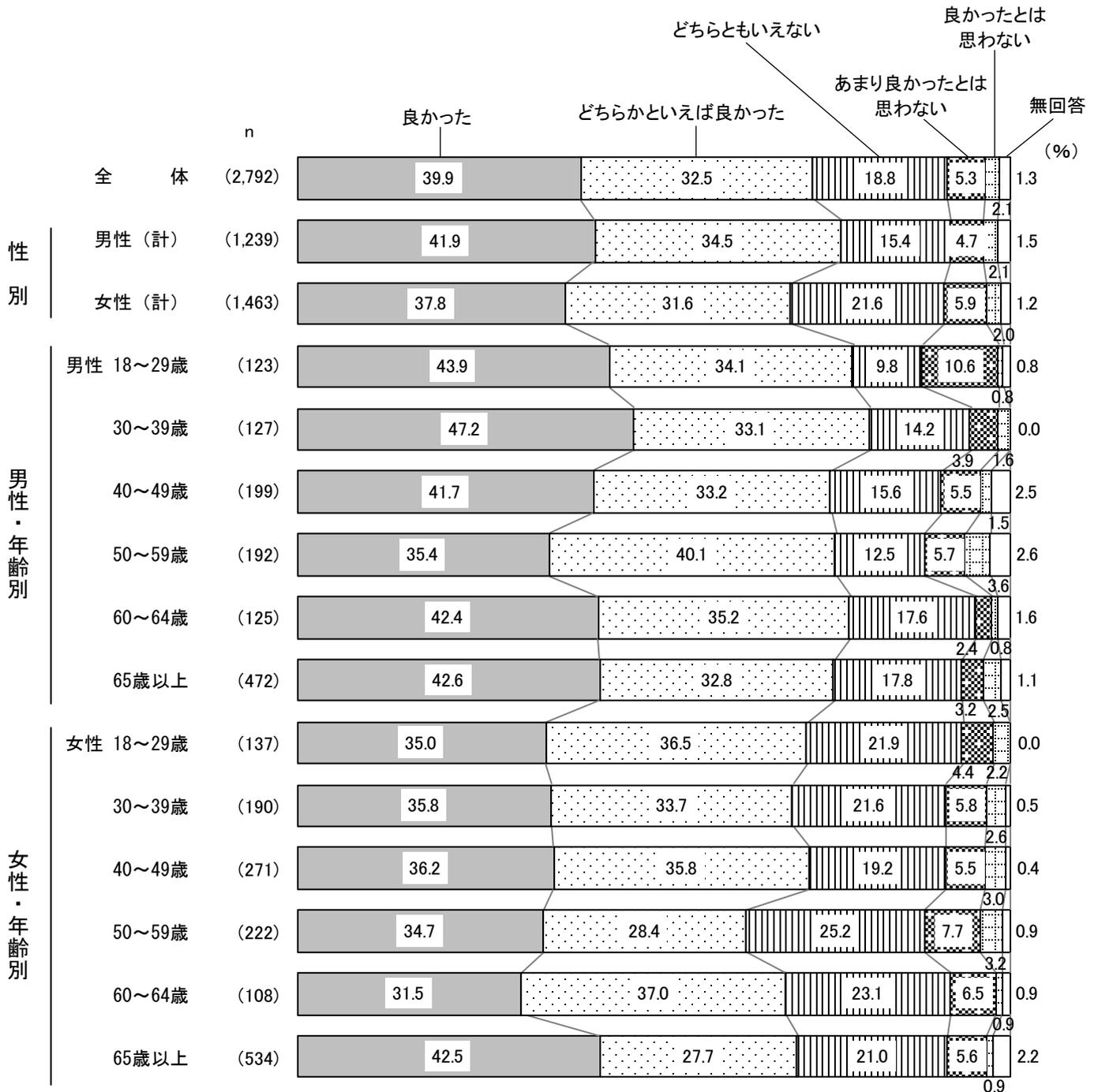
図 1-1-2 八王子市に住んで良かったと思うか一経年比較



※経年比較をするにあたり、平成28年は18歳及び19歳を除いた数とした。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。(図 1-1-2)

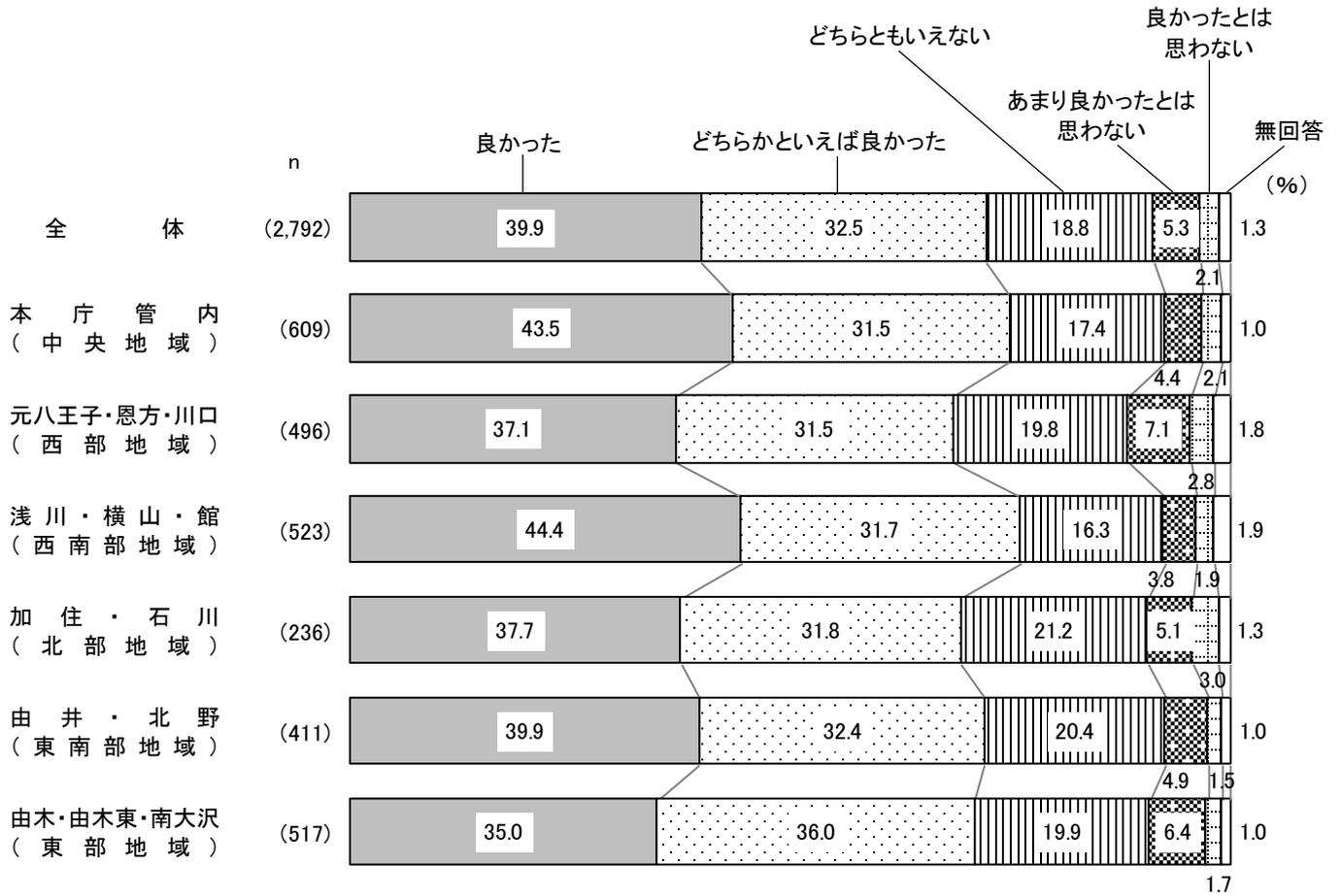
図 1-1-3 八王子市に住んで良かったと思うかー性別、性・年齢別



性別にみると、《良かった》は男性（76.4%）が女性（69.4%）より7.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、《良かった》は男性30~39歳（80.3%）で約8割、男性18~29歳（78.0%）と男性60~64歳（77.6%）で8割近くと多くなっている。（図1-1-3）

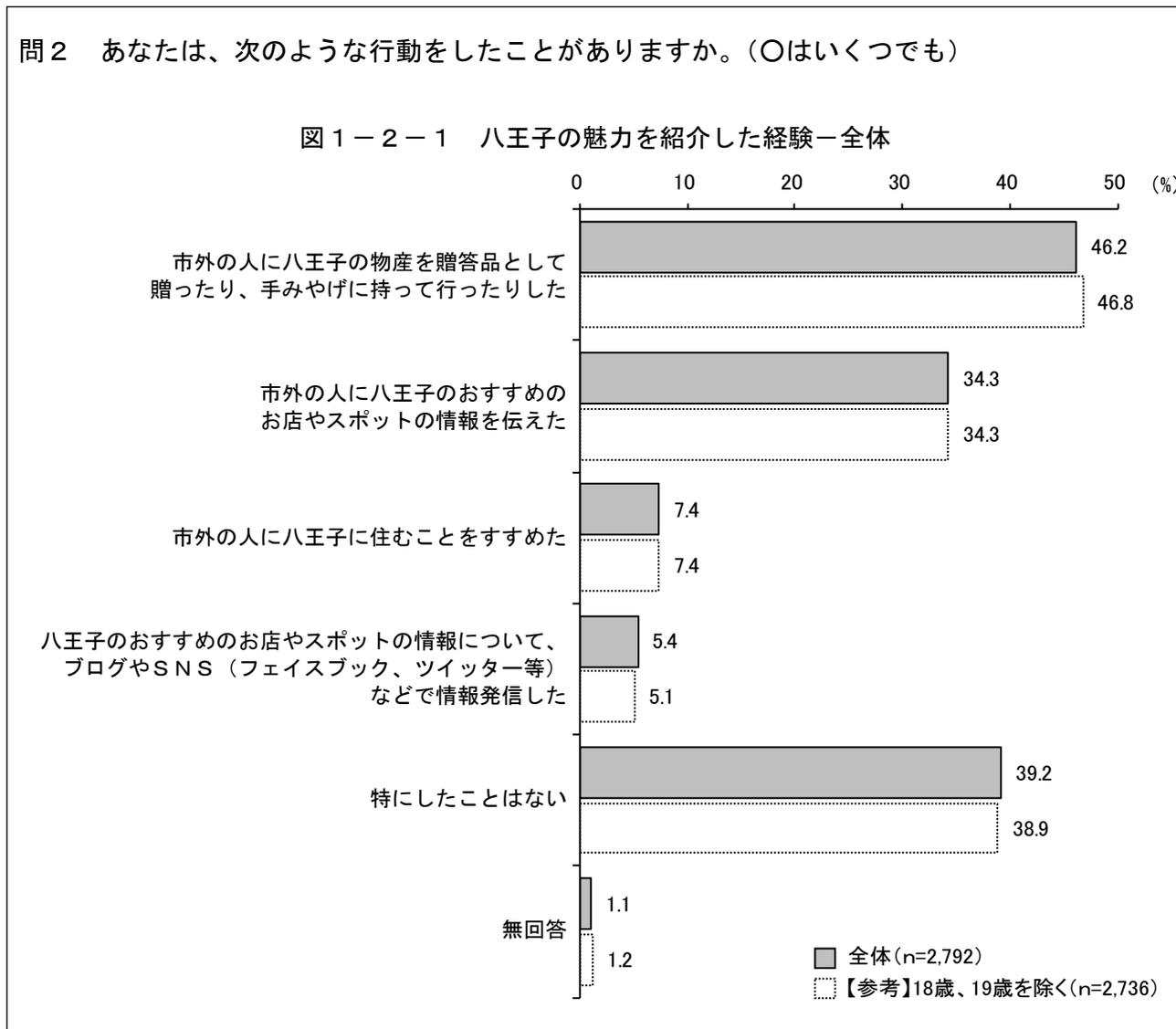
図 1-1-4 八王子市に住んで良かったと思うか—居住地域別



居住地域別にみると、《良かった》は浅川・横山・館（西南部地域）（76.1%）で8割近くと多くなっている。（図1-1-4）

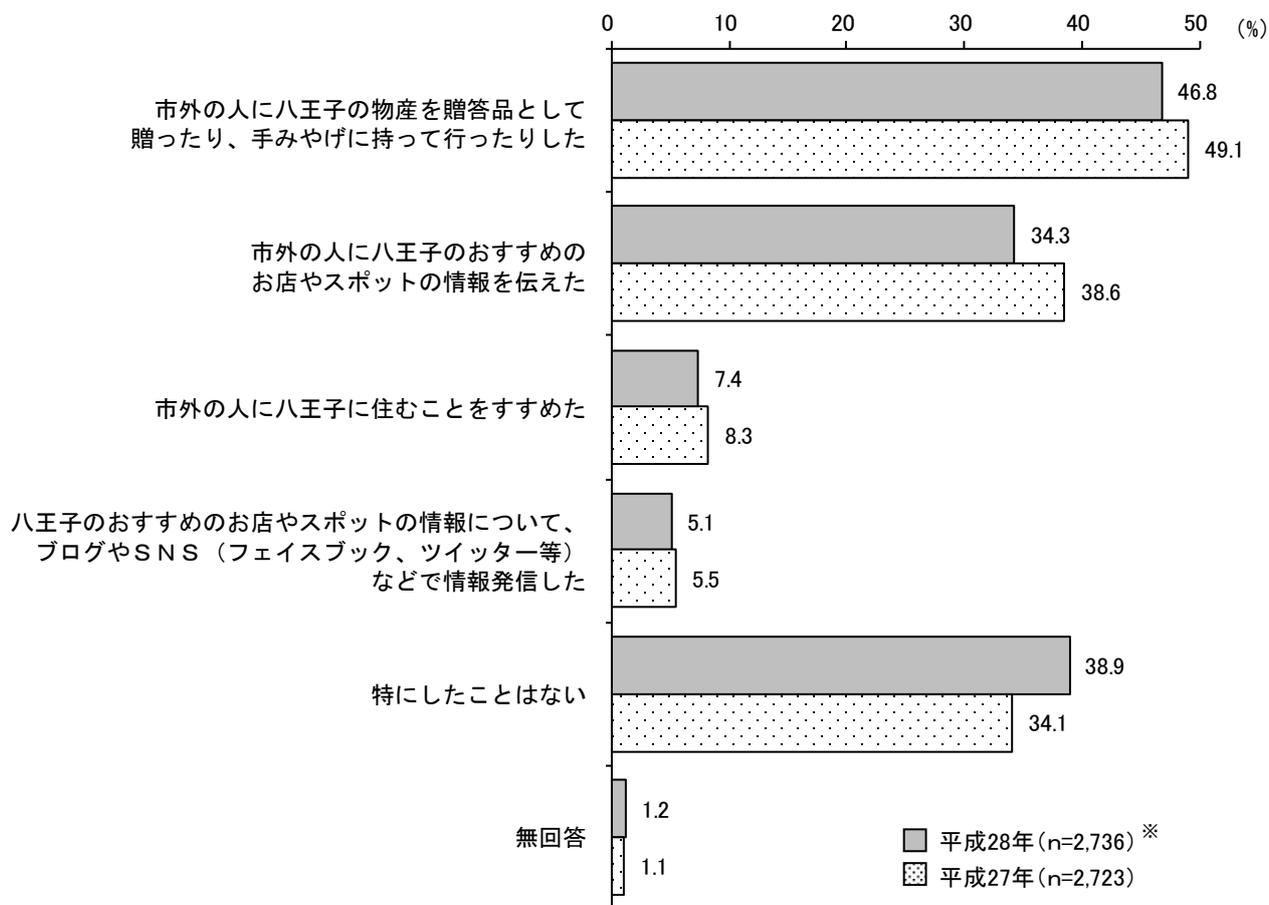
(2) 八王子の魅力を紹介した経験

◇「市外の人に八王子の物産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」が5割近く



八王子の魅力を紹介する行動をしたことがあるか聞いたところ、「市外の人に八王子の物産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」(46.2%)が最も多く5割近くとなっている。次いで「市外の人に八王子のおすすめのお店やスポットの情報を伝えた」(34.3%)、「市外の人に八王子に住むことをすすめた」(7.4%)などの順となっている。「特にしたことはない」(39.2%)は4割弱となっている。(図1-2-1)

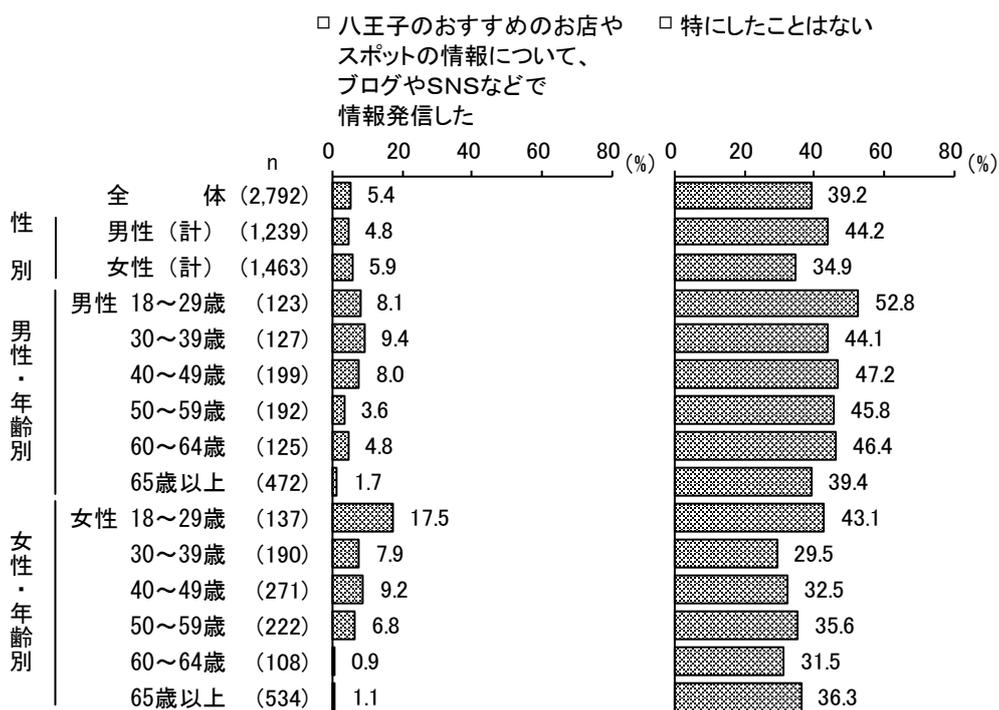
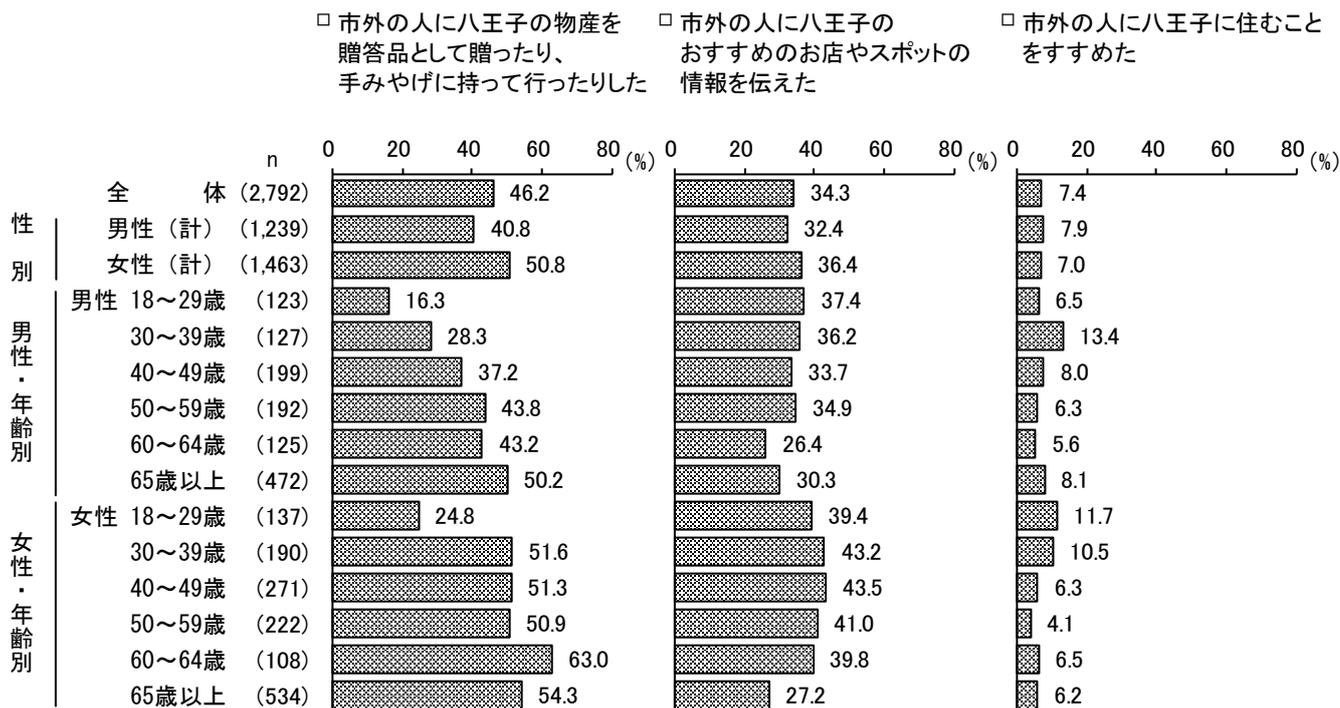
図1-2-2 八王子の魅力を紹介した経験—経年比較



※経年比較をするにあたり、平成28年は18歳及び19歳を除いた数とした。

前回調査と比較すると、「市外の人に八王子のおすすめのお店やスポットの情報を伝えた」は、平成27年（38.6%）より4.3ポイント減少している。（図1-2-2）

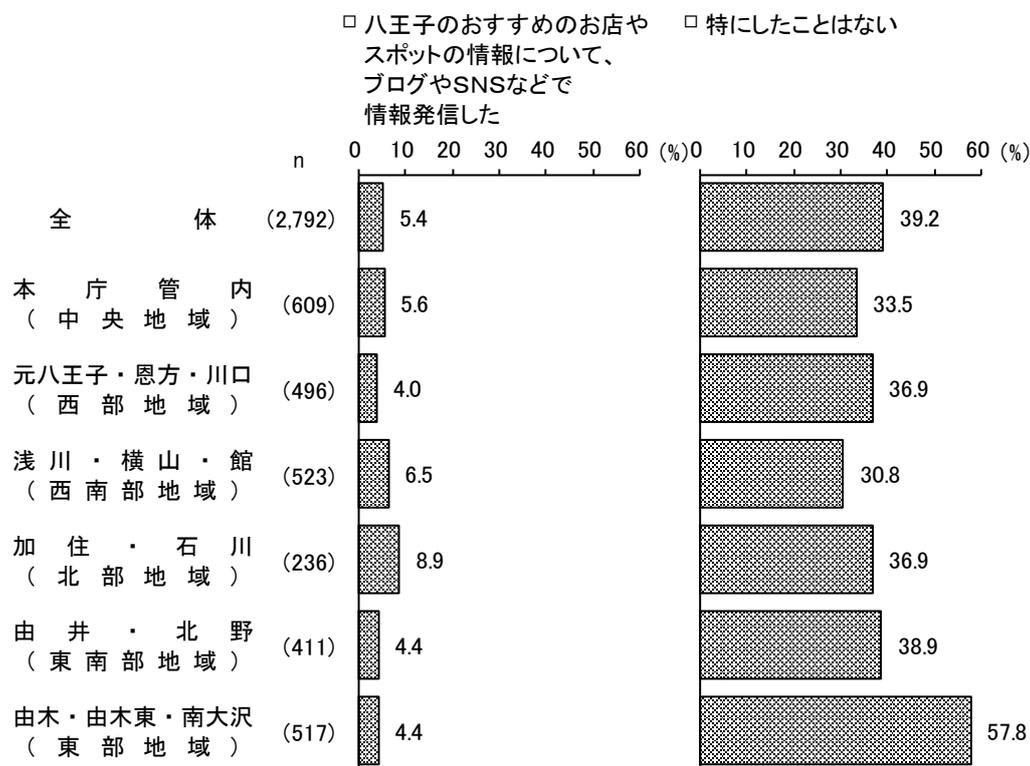
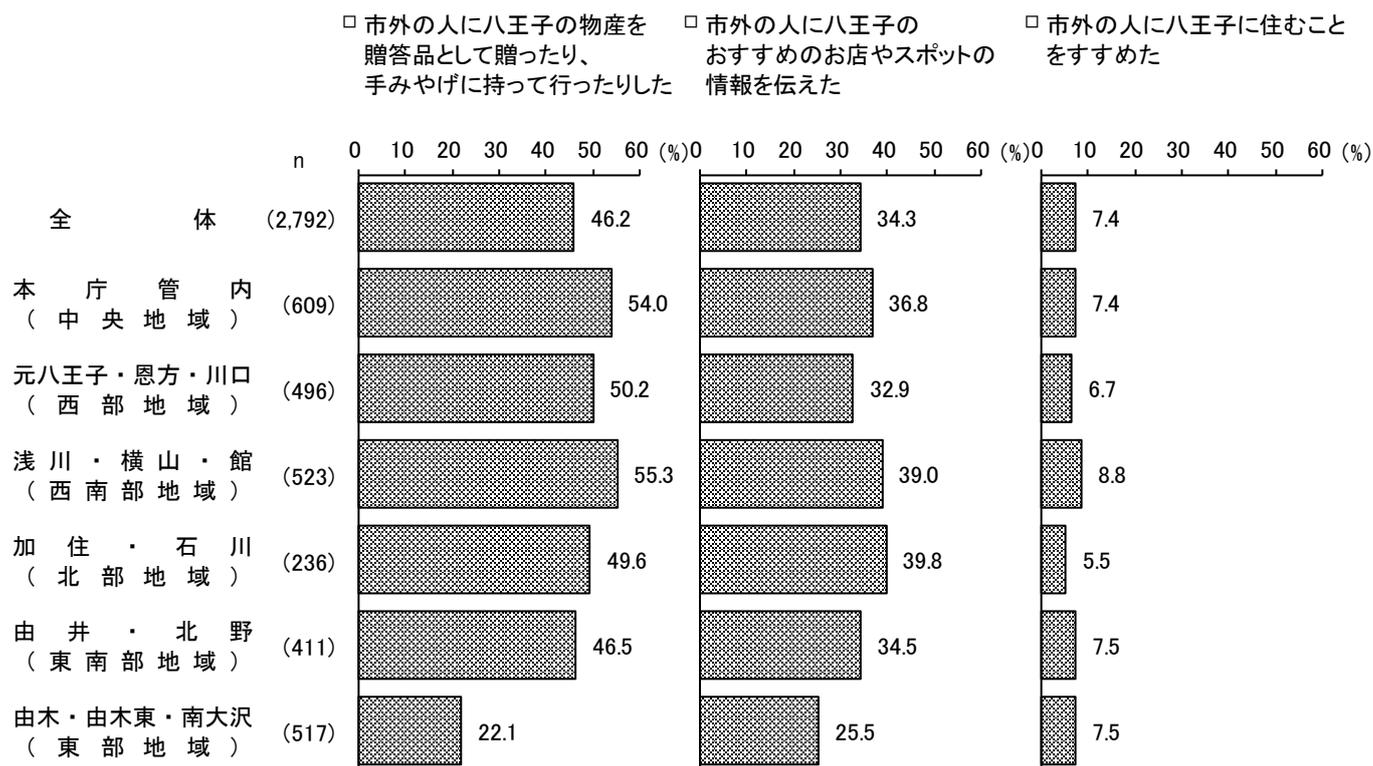
図1-2-3 八王子の魅力を紹介した経験—性別、性・年齢別



性別にみると、「市外の人に八王子の物産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」は女性 (50.8%) が男性 (40.8%) より10.0ポイント高くなっている。「特にしたことはない」は男性 (44.2%) が女性 (34.9%) より9.3ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「市外の人に八王子の物産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」は女性60~64歳 (63.0%) で多く6割強となっている。「八王子のおすすめのお店やスポットの情報について、ブログやSNS (フェイスブック、ツイッター等) などで情報発信した」は女性18~29歳 (17.5%) で最も多く2割近くとなっている。(図1-2-3)

図1-2-4 八王子の魅力を紹介した経験—居住地域別



居住地域別にみると、「市外の人に八王子の物産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」は浅川・横山・館（西南部地域）（55.3%）で最も多く5割台半ばとなっている。「特にしたことはない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（57.8%）で多く6割近くとなっている。

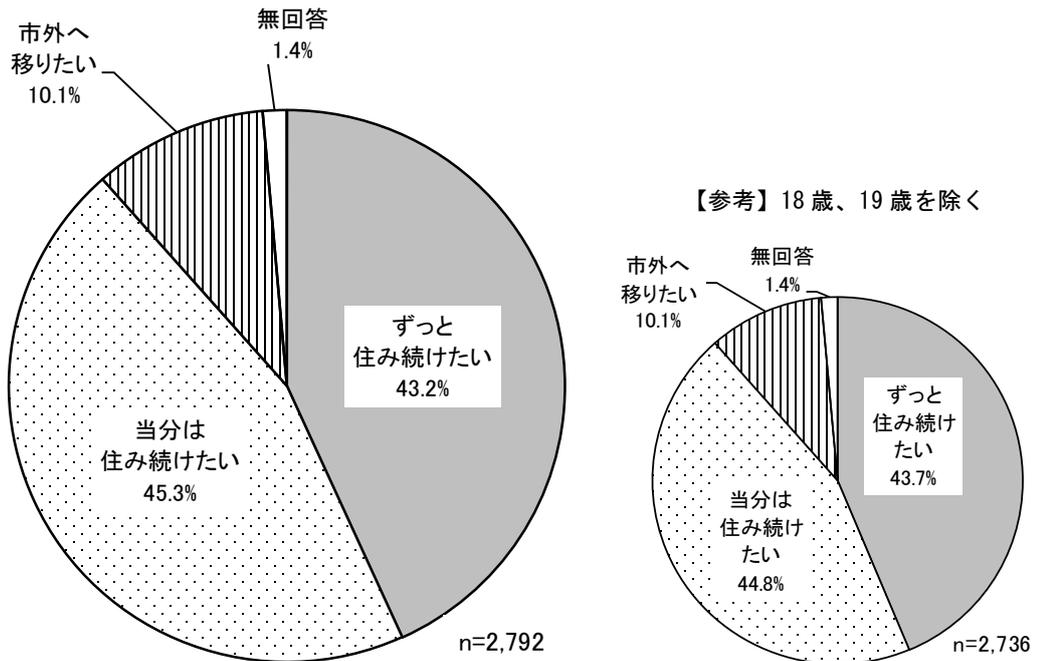
(図1-2-4)

(3) 定住意向

◇《住み続けたい》が9割近く

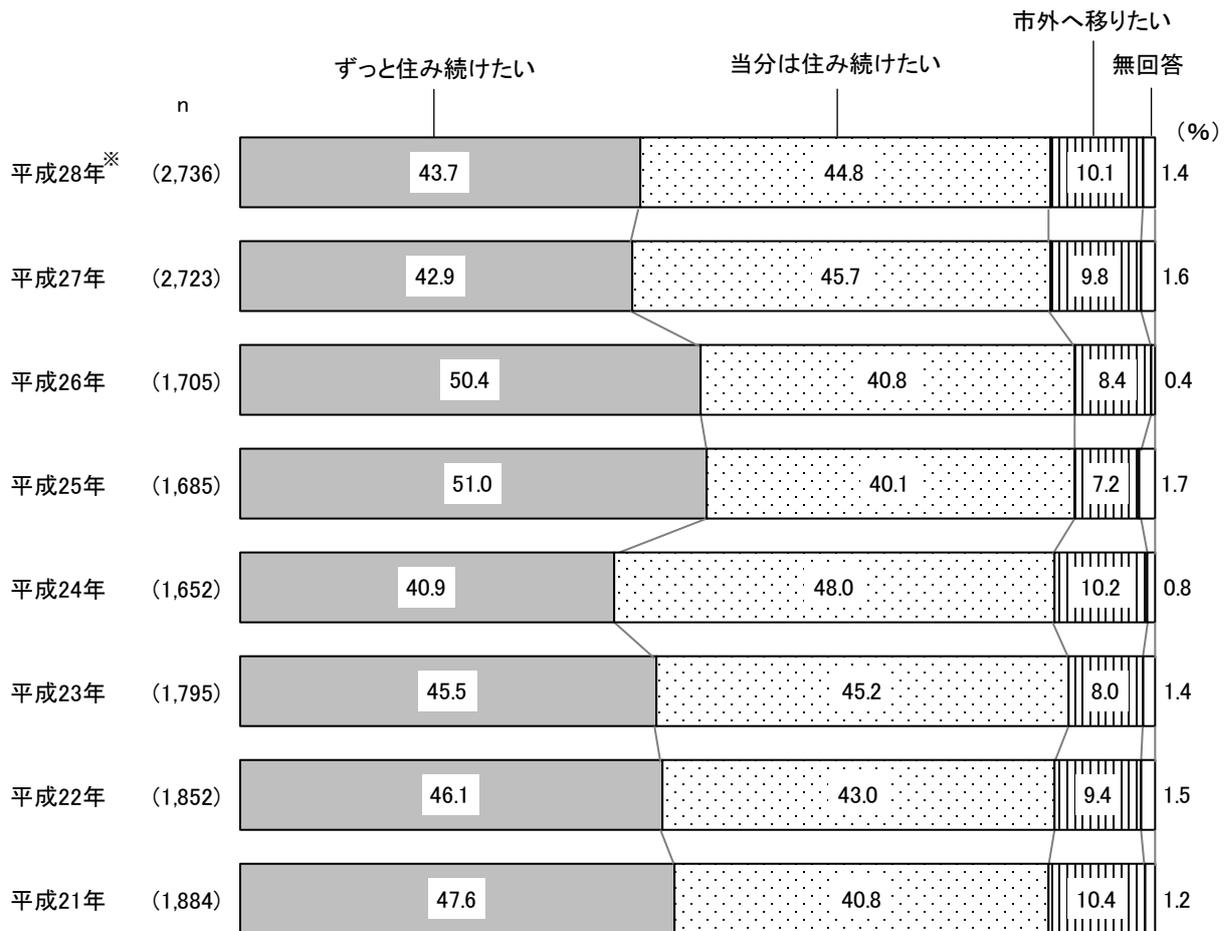
問3 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-3-1 定住意向-全体



これからも八王子市に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(43.2%)と「当分は住み続けたい」(45.3%)を合わせた《住み続けたい》(88.5%)が9割近くと多くなっている。一方、「市外へ移りたい」(10.1%)は約1割となっている。(図1-3-1)

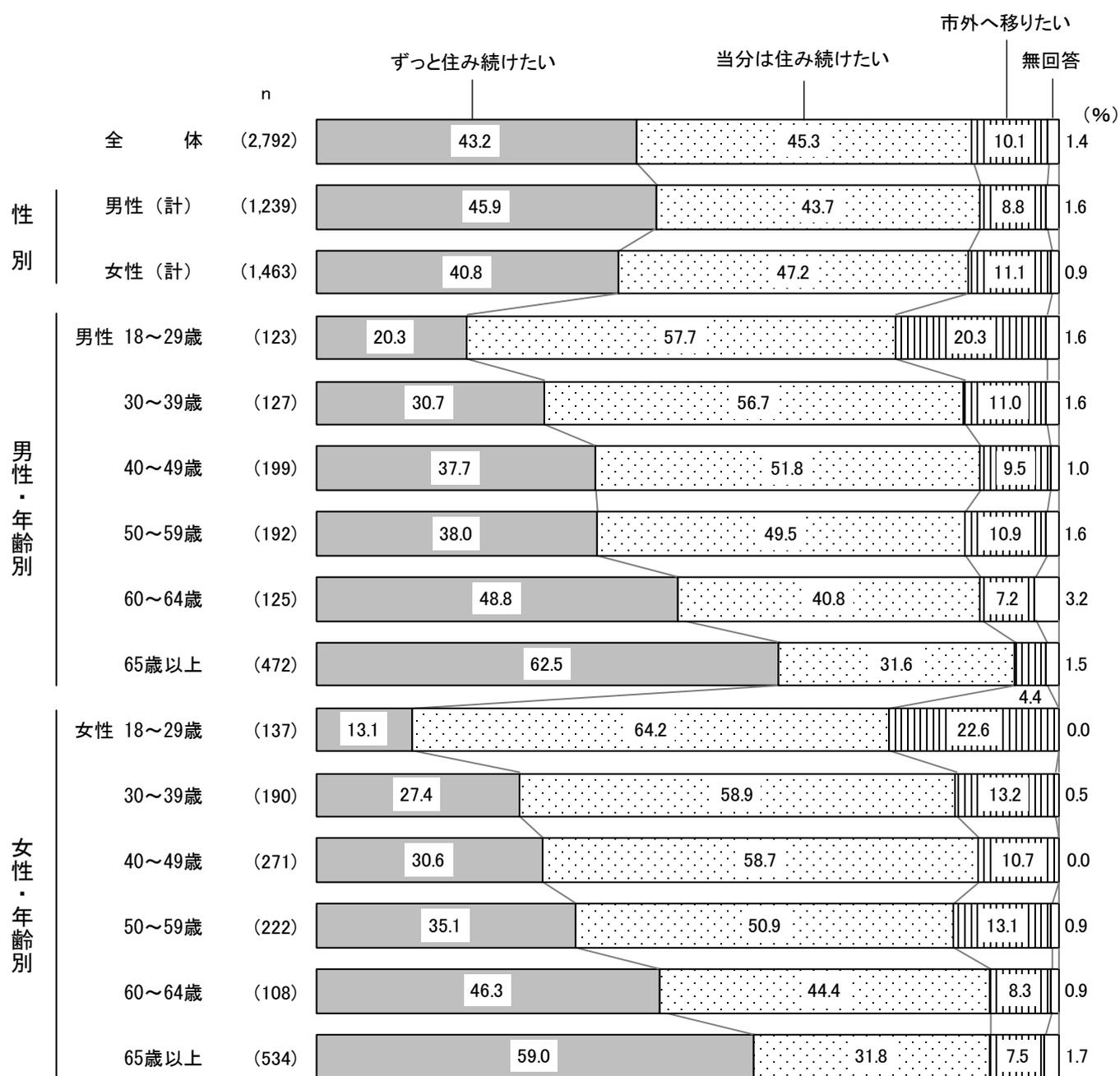
図 1 - 3 - 2 定住意向—経年比較



※経年比較をするにあたり、平成28年は18歳及び19歳を除いた数とした。

前回の調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図 1 - 3 - 2)

図1-3-3 定住意向—性別、性・年齢別

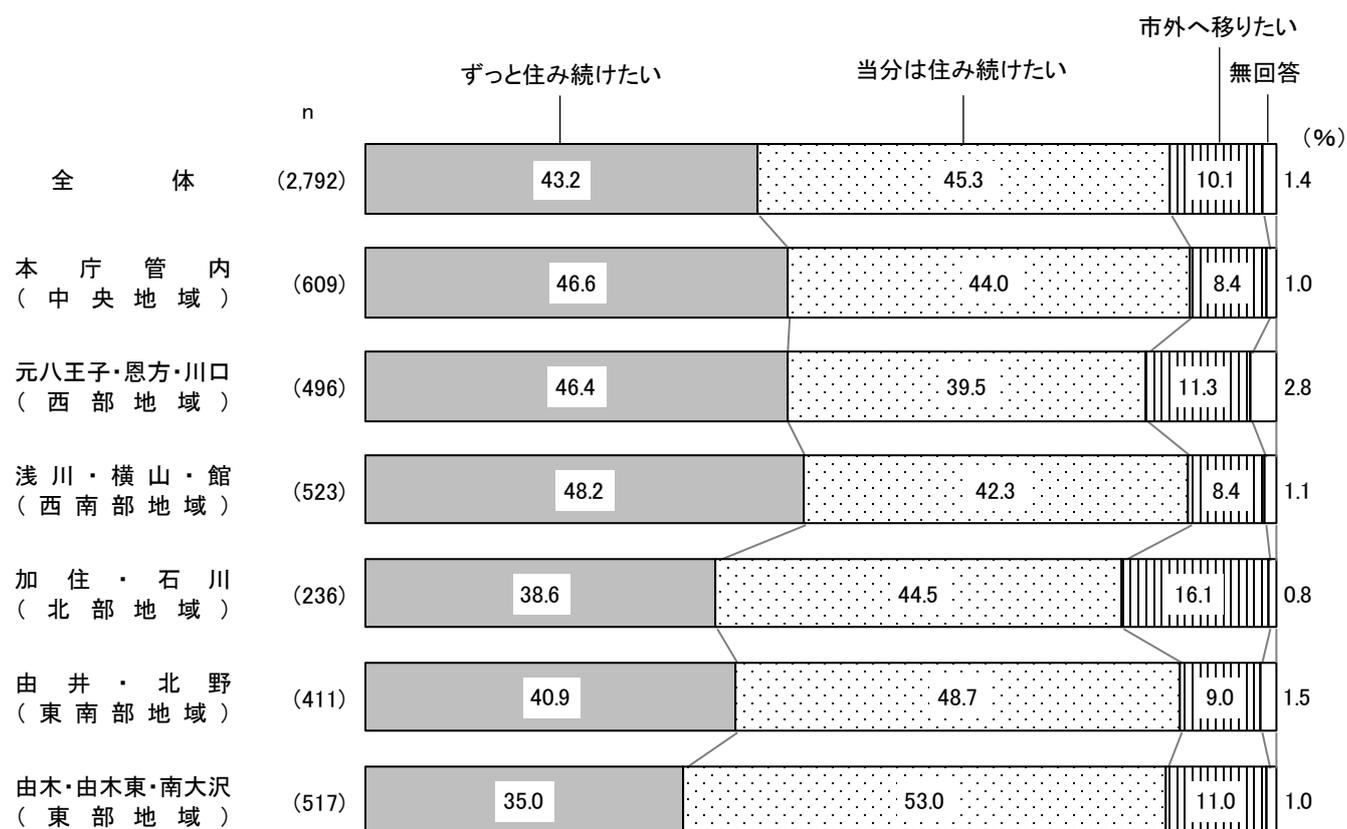


性別にみると、「ずっと住みたい」は男性（45.9%）が女性（40.8%）より5.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男性65歳以上（62.5%）で最も多く6割強となっている。一方、「市外へ移りたい」は女性18~29歳（22.6%）で最も多く2割強となっている。

(図1-3-3)

図 1-3-4 定住意向-居住地域別



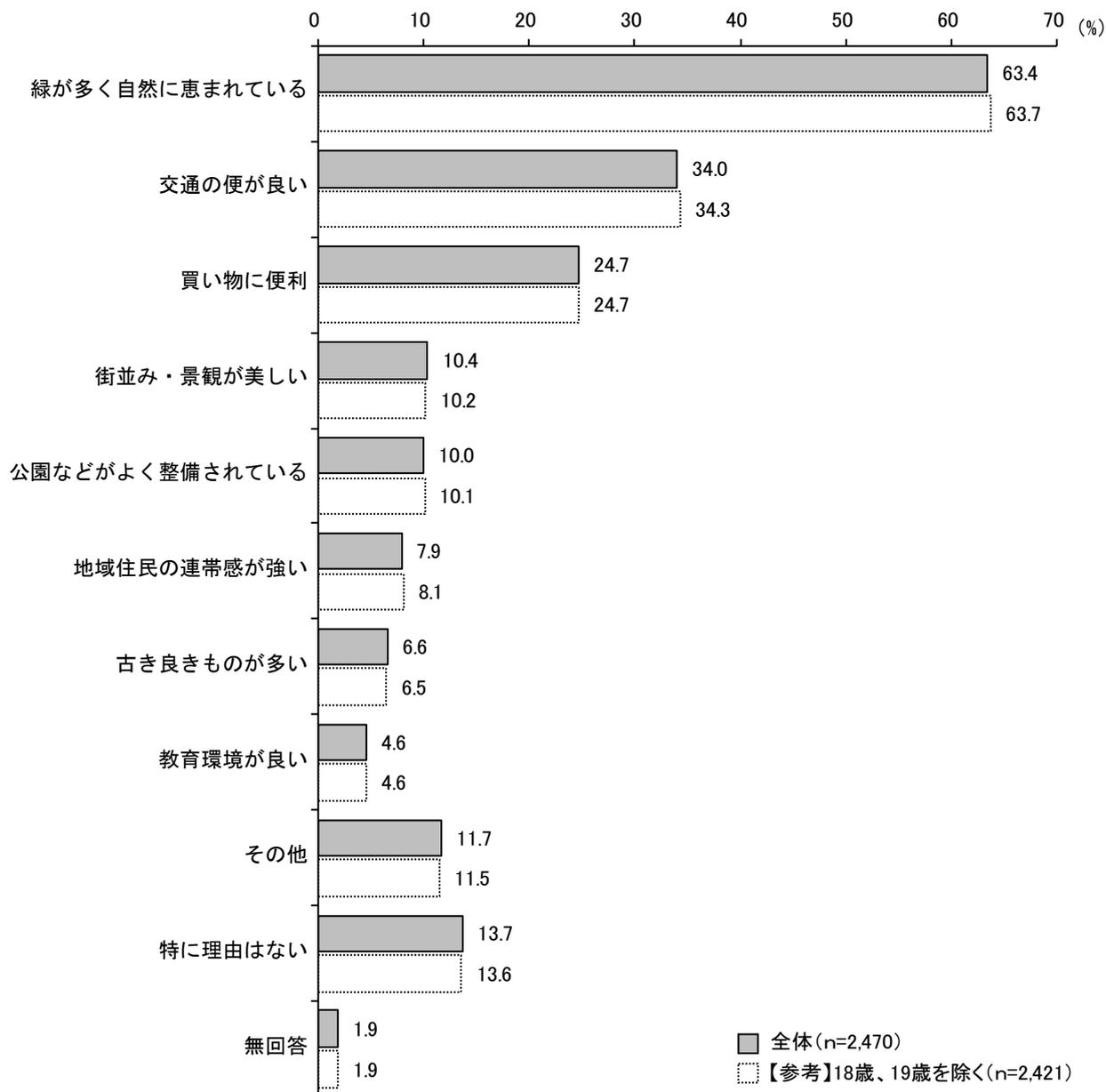
居住地域別にみると、「ずっと住みたい」は浅川・横山・館（西南部地域）（48.2%）で5割近くと多くなっている。一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）（35.0%）では3割台半ばにとどまっている。（図1-3-4）

(4) 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が6割強

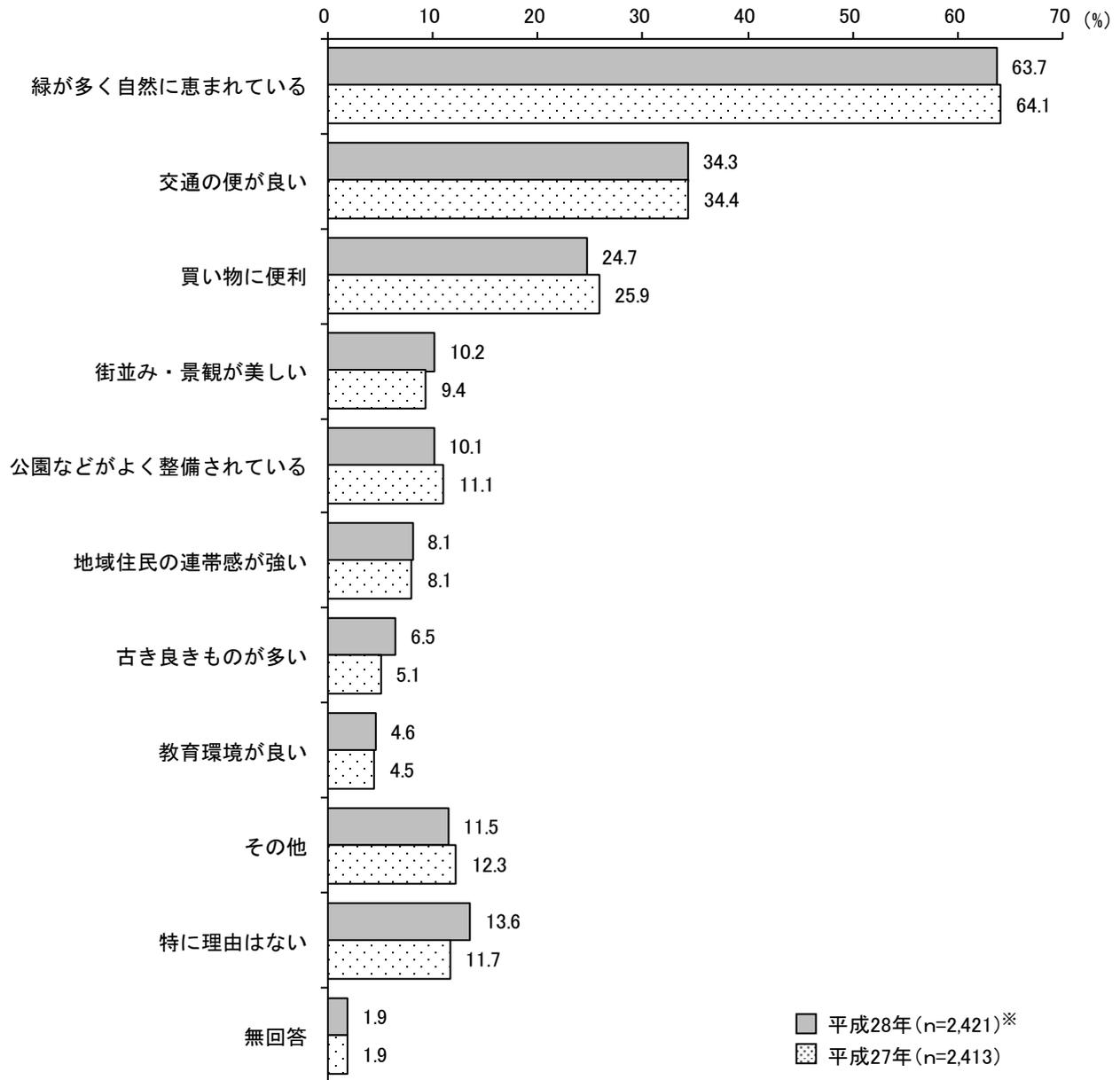
(問3で「1 ずっと住み続けたい」または「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に)
問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

図1-4-1 住み続けたい理由-全体



八王子市に「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と回答した2,470人に、その理由を聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」(63.4%)が最も多く6割強となっている。次いで「交通の便が良い」(34.0%)、「買い物に便利」(24.7%)、「街並み・景観が美しい」(10.4%)、「公園などがよく整備されている」(10.0%)などの順となっている。(図1-4-1)

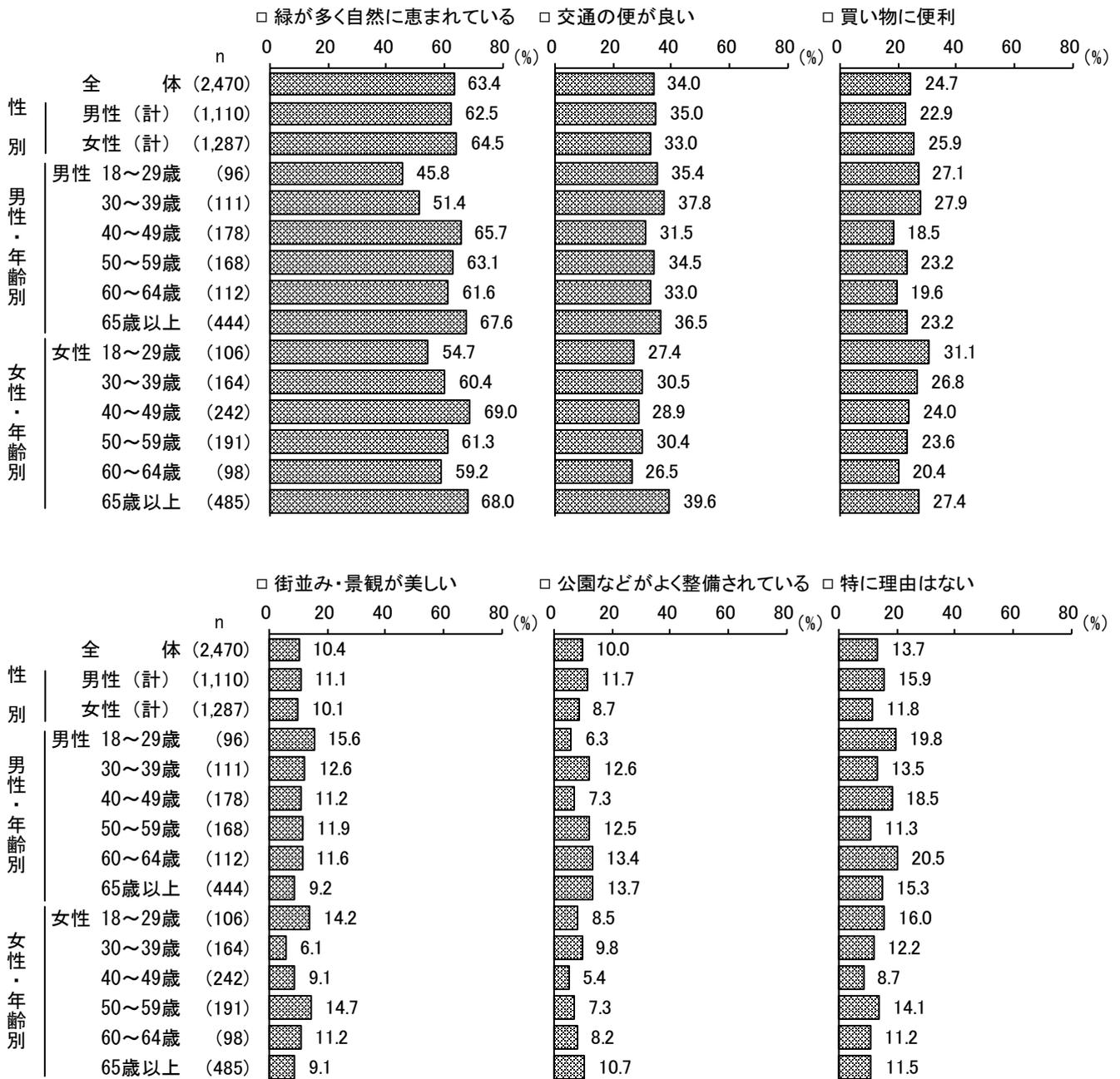
図 1 - 4 - 2 住み続けたい理由一経年比較



※経年比較をするにあたり、平成28年は18歳及び19歳を除いた数とした。

前回調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。(図 1 - 4 - 2)

図1-4-3 住みたい理由—性別、性・年齢別（上位5位+「特に理由はない」）

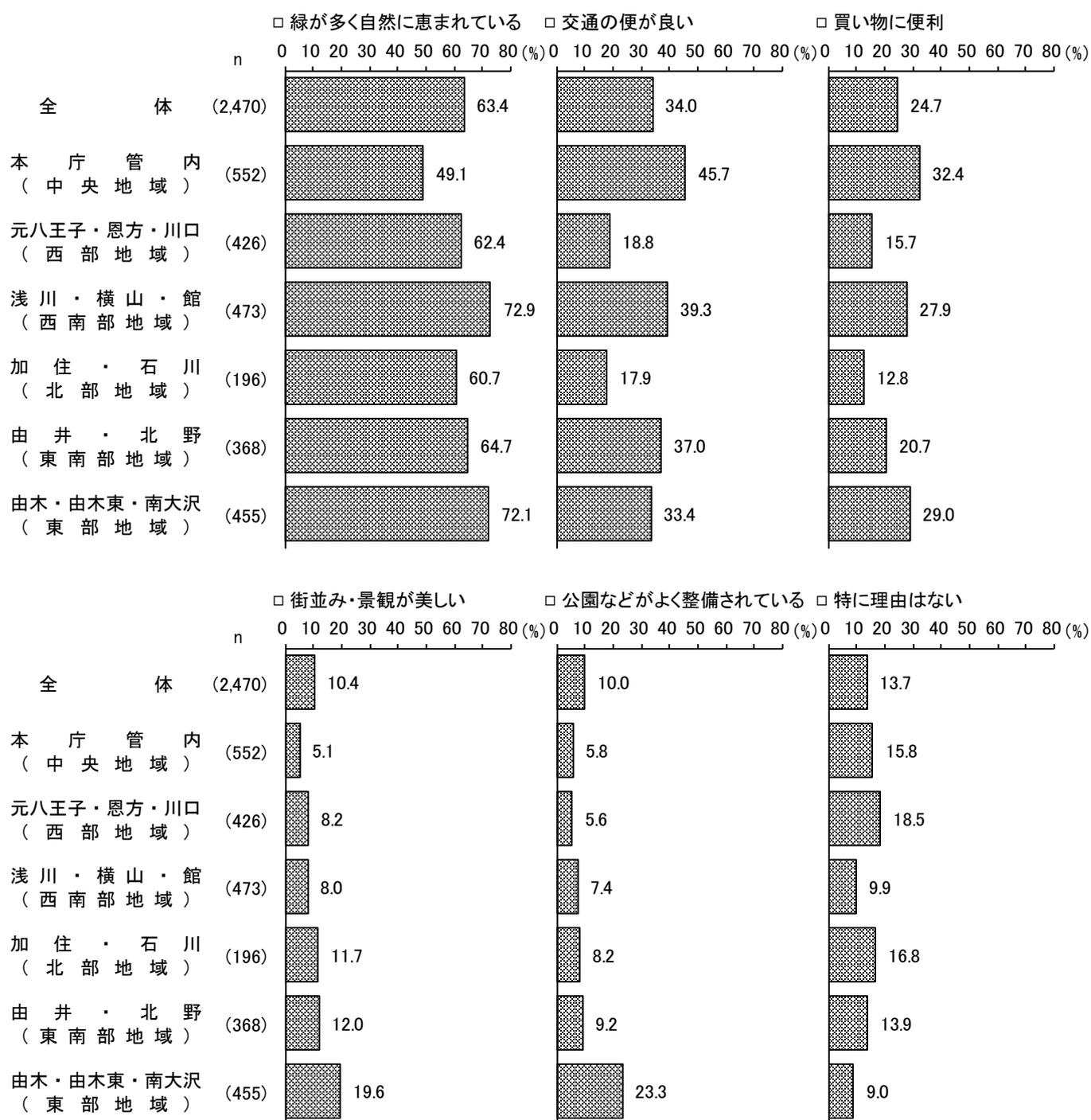


性別にみると、「買い物に便利」は女性（25.9%）が男性（22.9%）より3.0ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は女性40~49歳（69.0%）で最も多く7割弱となっている。「交通の便が良い」は女性65歳以上（39.6%）で4割弱と多くなっている。

（図1-4-3）

図1-4-4 住み続けたい理由—居住地域別（上位5位+「特に理由はない」）



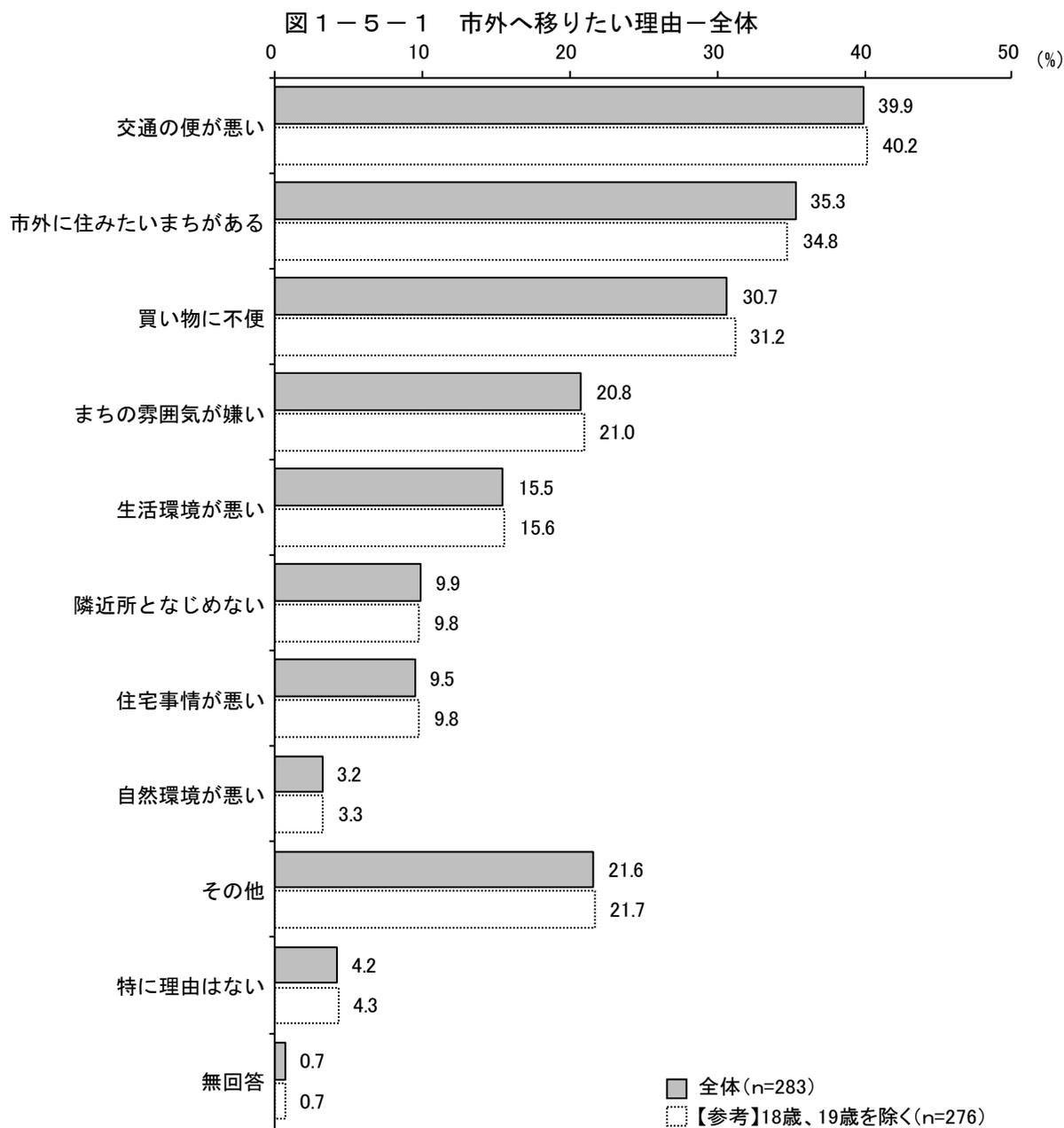
居住地域別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は浅川・横山・館（西南部地域）（72.9%）と由木・由木東・南大沢（東部地域）（72.1%）で7割強と多くなっている。「交通の便が良い」は本庁管内（中央地域）（45.7%）で4割台半ばと多くなっている。「公園などがよく整備されている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（23.3%）で2割強と多くなっている。（図1-4-4）

(5) 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割弱

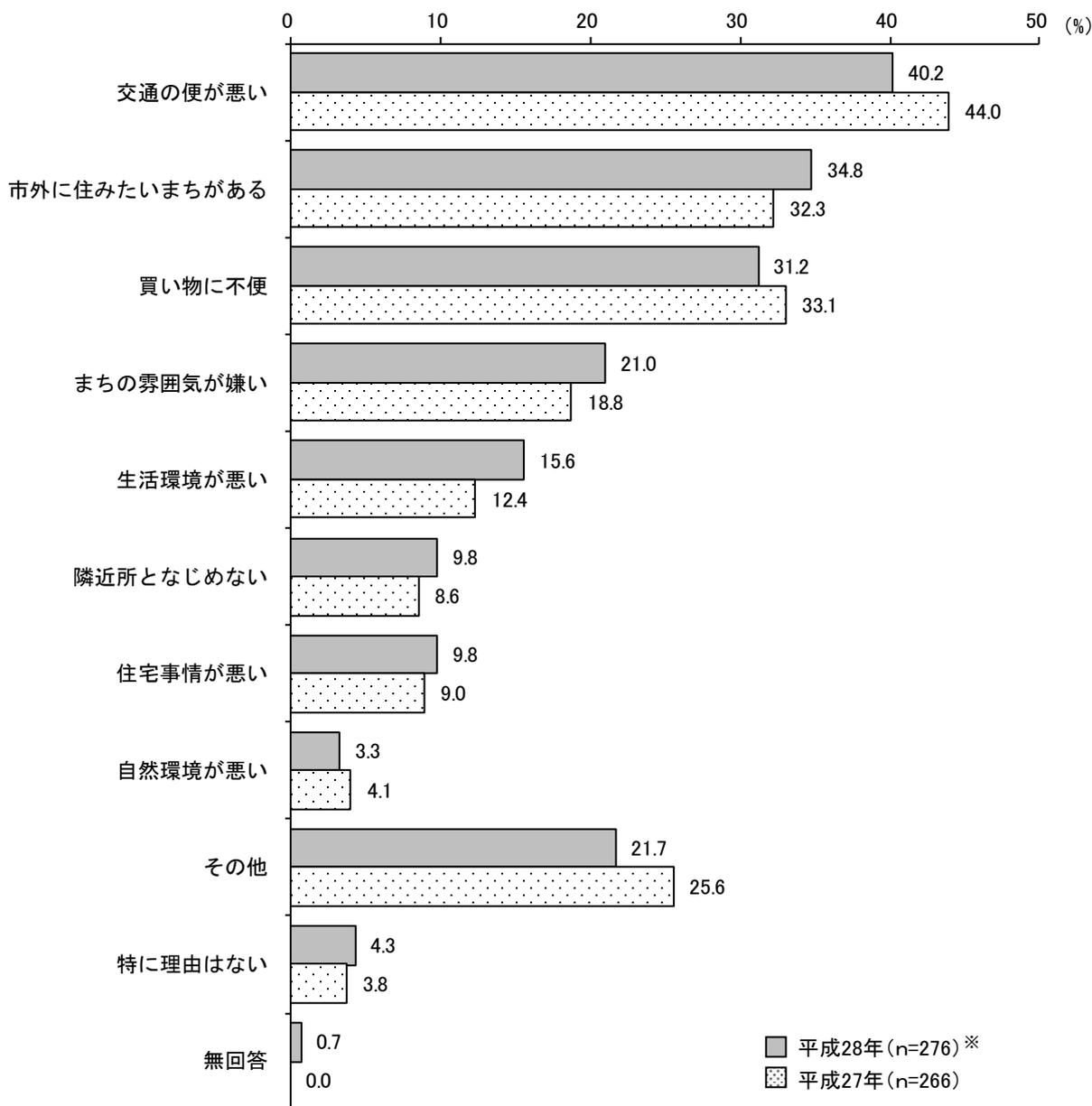
(問3で「3 市外へ移りたい」とお答えの方に)

問3-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



八王子市から「市外へ移りたい」と回答した283人に、その理由を聞いたところ、「交通の便が悪い」(39.9%)が最も多く4割弱となっている。次いで「市外に住みたいまちがある」(35.3%)、「買い物に不便」(30.7%)、「まちの雰囲気が嫌い」(20.8%)などの順となっている。(図1-5-1)

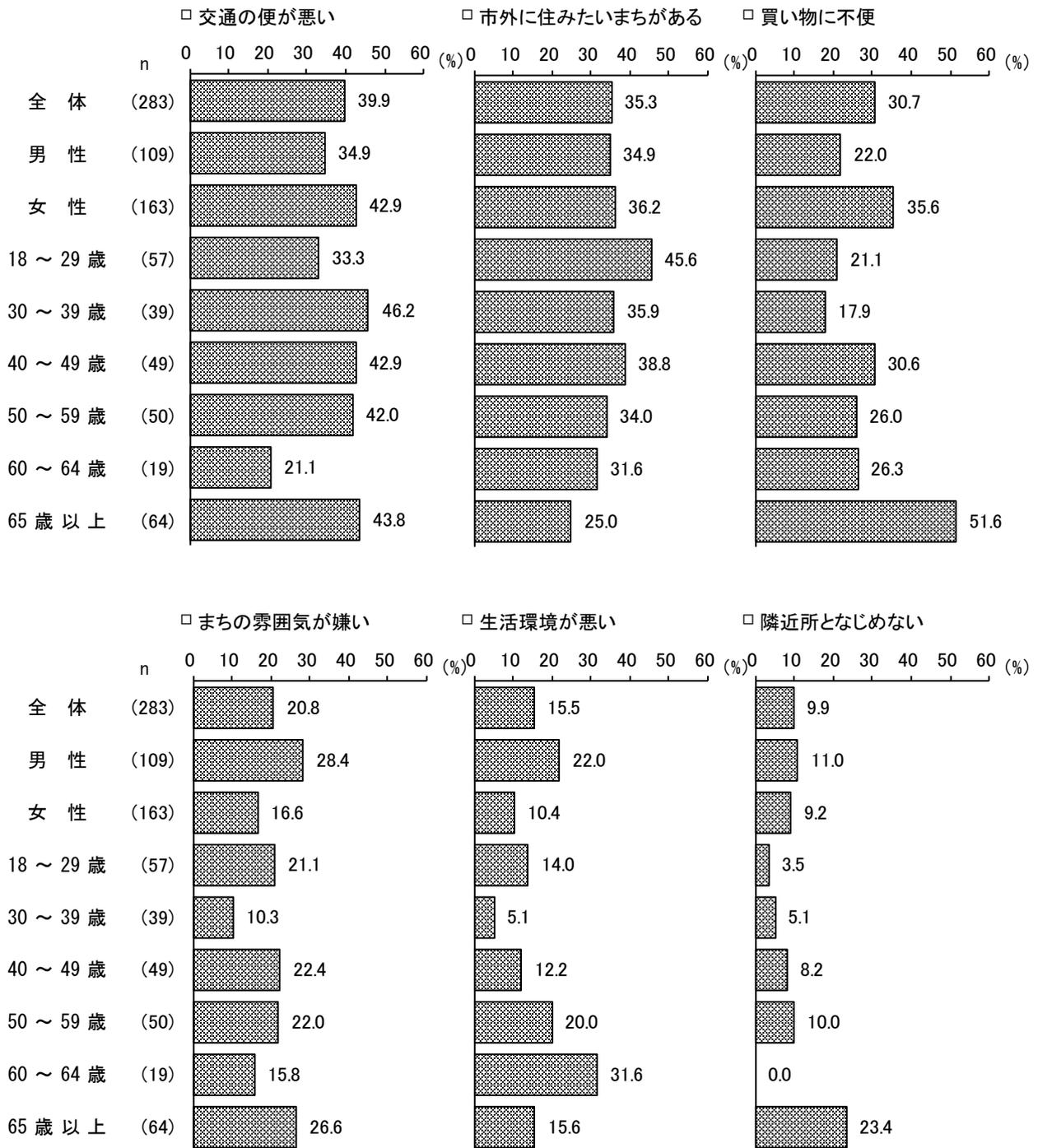
図1-5-2 市外へ移りたい理由—経年比較



※経年比較をするにあたり、平成28年は18歳及び19歳を除いた数とした。

前回調査と比較すると、「交通の便が悪い」は、平成27年（44.0%）より3.8ポイント減少している。「生活環境が悪い」は、平成27年（12.4%）より3.2ポイント増加している。（図1-5-2）

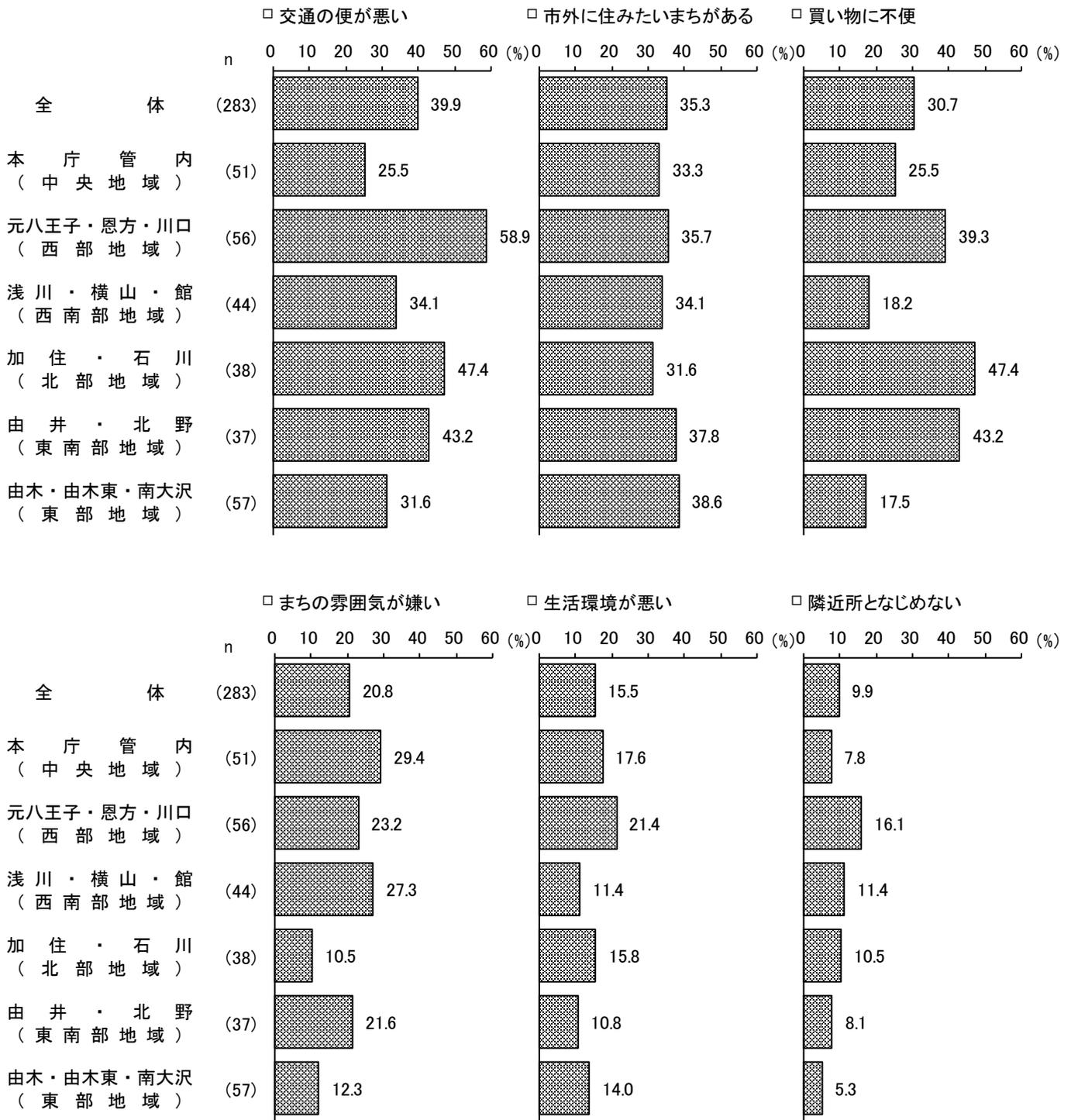
図1-5-3 市外へ移りたい理由—性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「買い物に不便」は女性（35.6%）が男性（22.0%）より13.6ポイント高くなっている。「まちの雰囲気が嫌い」は男性（28.4%）が女性（16.6%）より11.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「買い物に不便」は65歳以上（51.6%）で5割強と多くなっている。「生活環境が悪い」は60～64歳（31.6%）で3割強と多くなっている。（図1-5-3）

図1-5-4 市外へ移りたい理由—居住地域別（上位6位）



居住地域別にみると、「交通の便が悪い」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（58.9%）で6割近くと多くなっている。「買い物に不便」は加住・石川（北部地域）（47.4%）で5割近くと多くなっている。（図1-5-4）

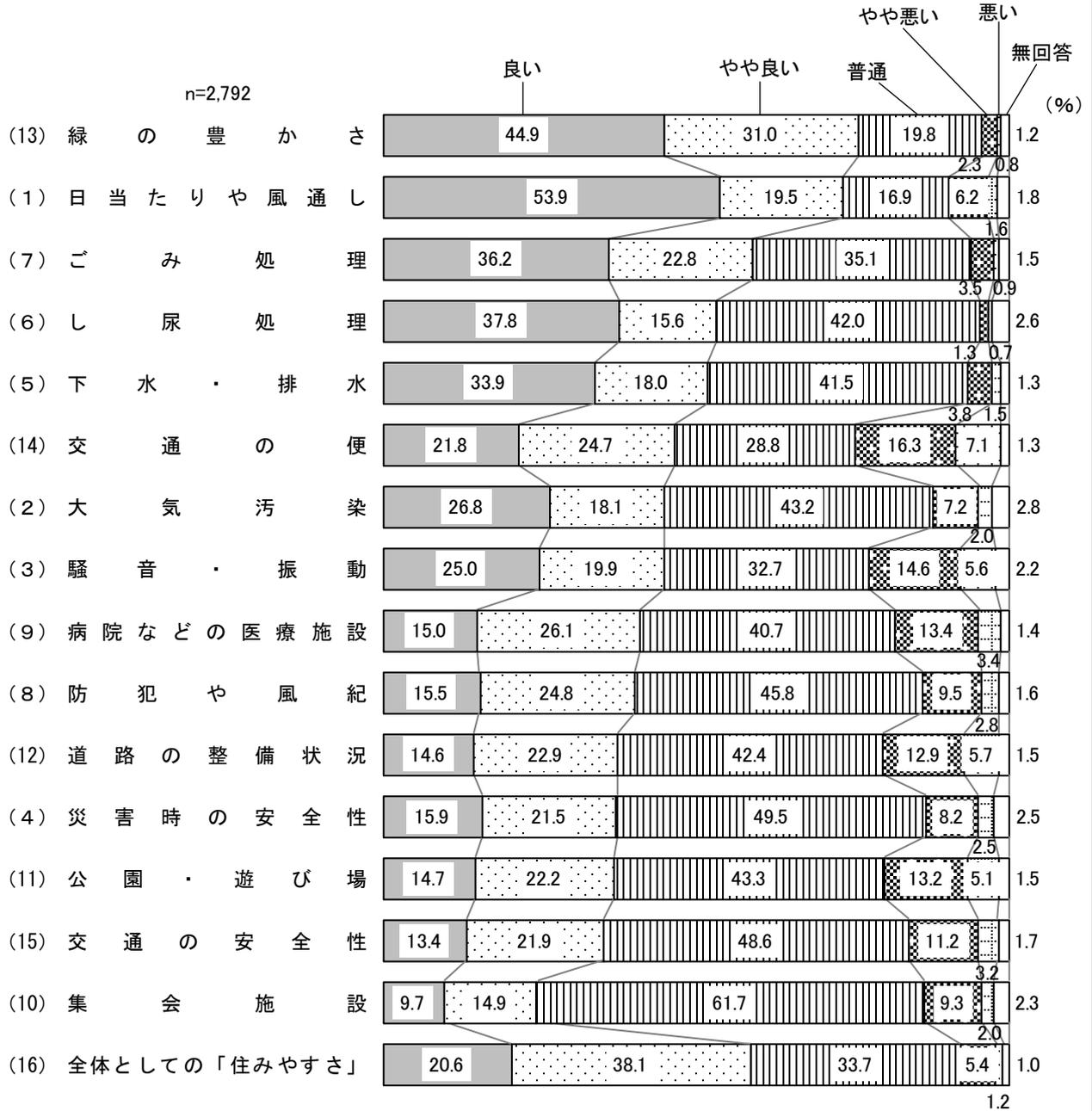
(6) 生活環境の評価

◇《良い》は、「緑の豊かさ」が7割台半ば、「日当たりや風通し」が7割強

問4 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

図1-6-1 生活環境の評価-全体



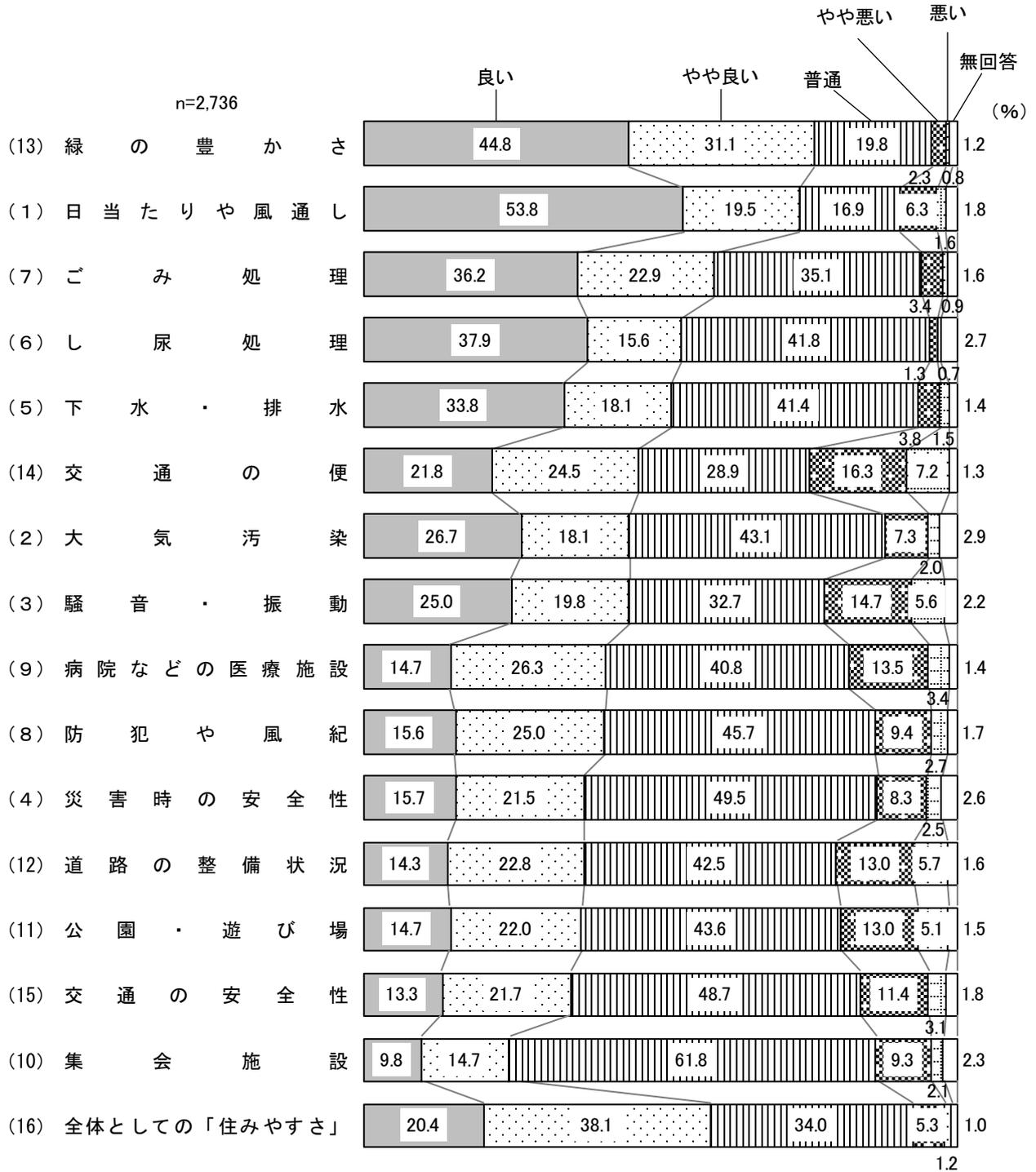
(注) (16) 全体としての「住みやすさ」を除き、「良い」と「やや良い」を合算し、比率の高い順に並べた。

周囲の生活環境について日頃どのように感じているか聞いたところ、「良い」と「やや良い」を合わせた《良い》は、(13) 緑の豊かさ (75.9%) が最も多く7割台半ばとなっている。次いで(1) 日当たりや風通し (73.4%)、(7) ごみ処理 (59.0%) などの順となっている。一方、「やや悪い」と「悪い」を合わせた《悪い》は、(14) 交通の便 (23.4%) が最も多く2割強となっている。

(16) 全体としての「住みやすさ」は、《良い》 (58.7%) が6割近くとなっている。

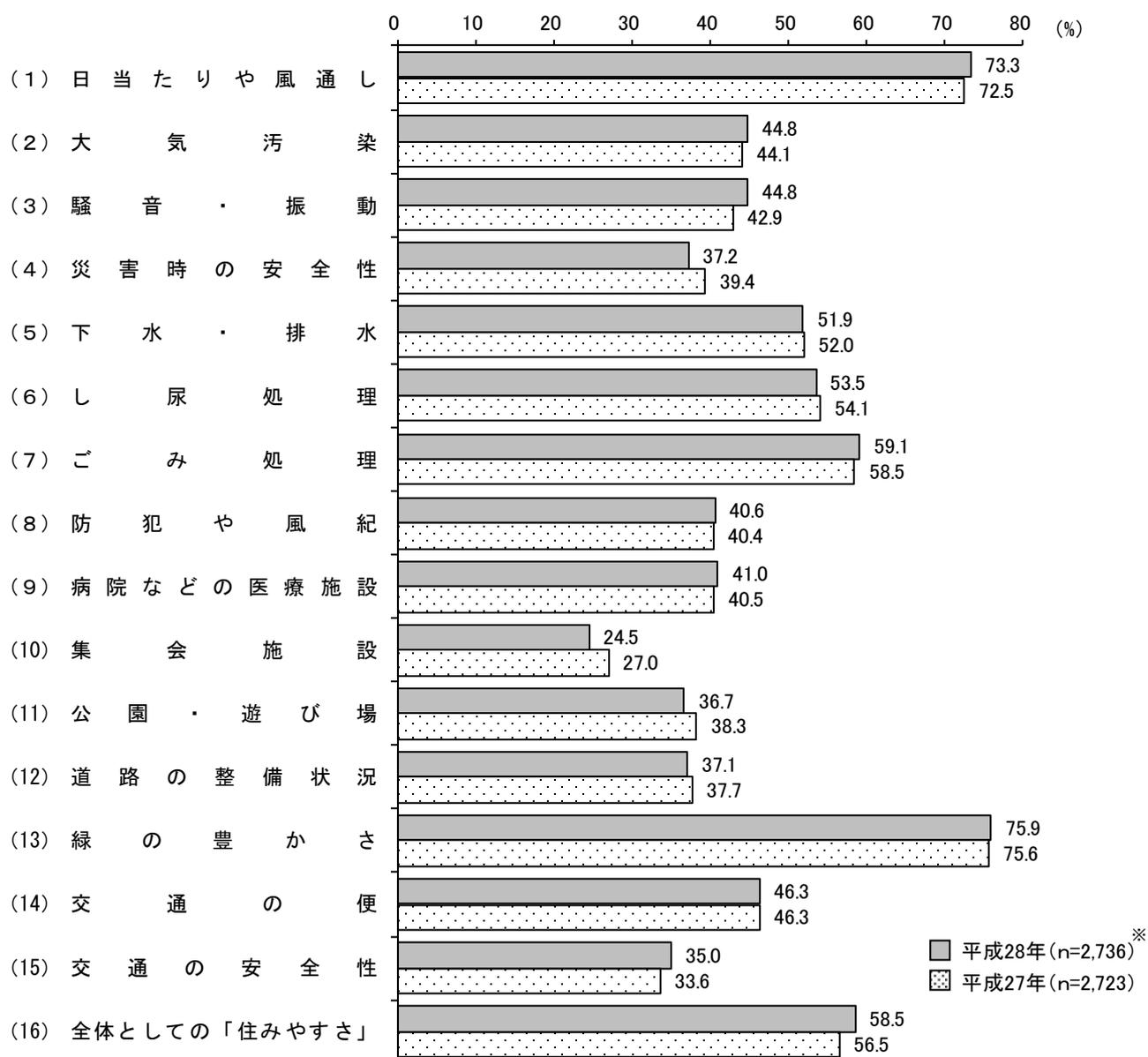
(図1-6-1)

図1-6-1【参考】 生活環境の評価—全体（18歳及び19歳を除く）



(注) (16) 全体としての「住みやすさ」を除き、「良い」と「やや良い」を合算し、比率の高い順に並べた。

図1-6-2 生活環境の評価—経年比較（「良い」＋「やや良い」）



※経年比較をするにあたり、平成28年は18歳及び19歳を除いた数とした。

「良い」と「やや良い」を合わせた《良い》について前回調査と比較すると、(16) 全体としての「住みやすさ」(58.5%)が2.0ポイント、(3) 騒音・振動(44.8%)が1.9ポイント増加している。

また、前回調査より《良い》の割合が増加したのは9項目で、《良い》の割合が減少したのは(10) 集会施設(2.5ポイント減)、(4) 災害時の安全性(2.2ポイント減)、(11) 公園・遊び場(1.6ポイント減)などの6項目となっている。(図1-6-2)

加重平均値（満足度）

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比率をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{評価点} = \left[\left(\text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} \right) + \left(\text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} \right) + \left(\text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} \right) + \left(\text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} \right) + \left(\text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点} \right) \right] \div \text{回答者数}$$

この計算方法では、評価点は5.00点から1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

図1-6-3 生活環境の評価—加重平均（満足度）



以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの5項目は次のようになっている。

【上位】

日当たりや風通し (4.20点)
 緑の豊かさ (4.18点)
 ごみ処理 (3.91点)
 し尿処理 (3.91点)
 下水・排水 (3.80点)

【下位】

集会施設 (3.22点)
 道路の整備状況 (3.28点)
 公園・遊び場 (3.29点)
 交通の安全性 (3.32点)
 病院などの医療施設 (3.36点)

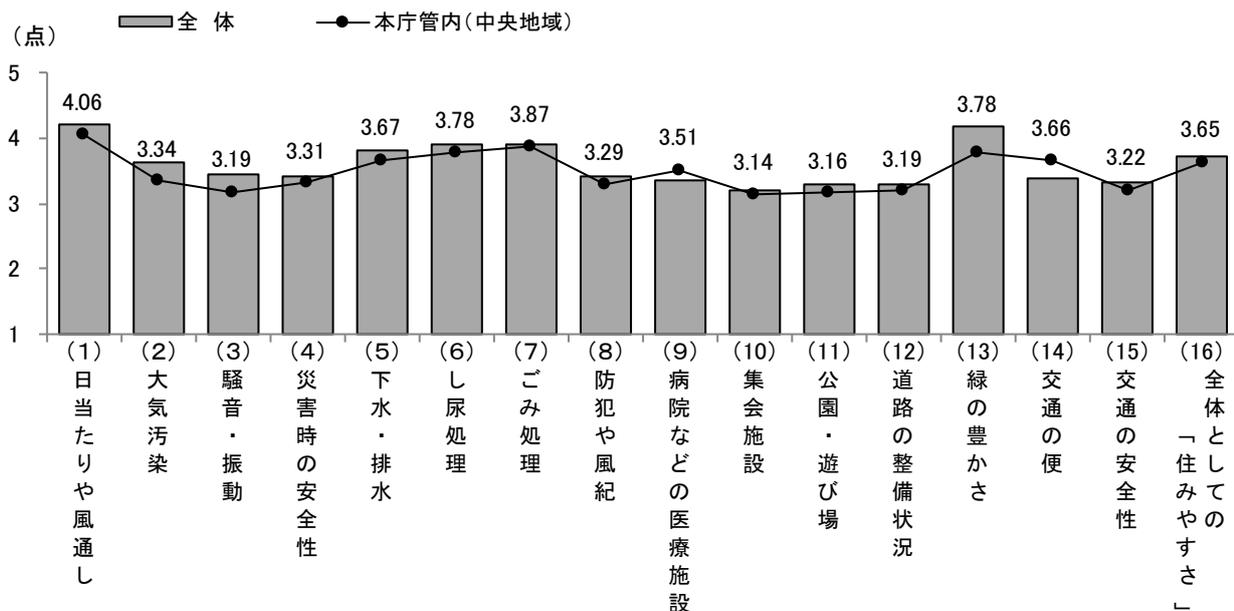
(図1-6-3)

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは16項目中2項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（+0.28ポイント）となっている。下回っているのは16項目中14項目で、最も差が大きいのは（13）緑の豊かさ（-0.40ポイント）となっている。（図1-6-4）

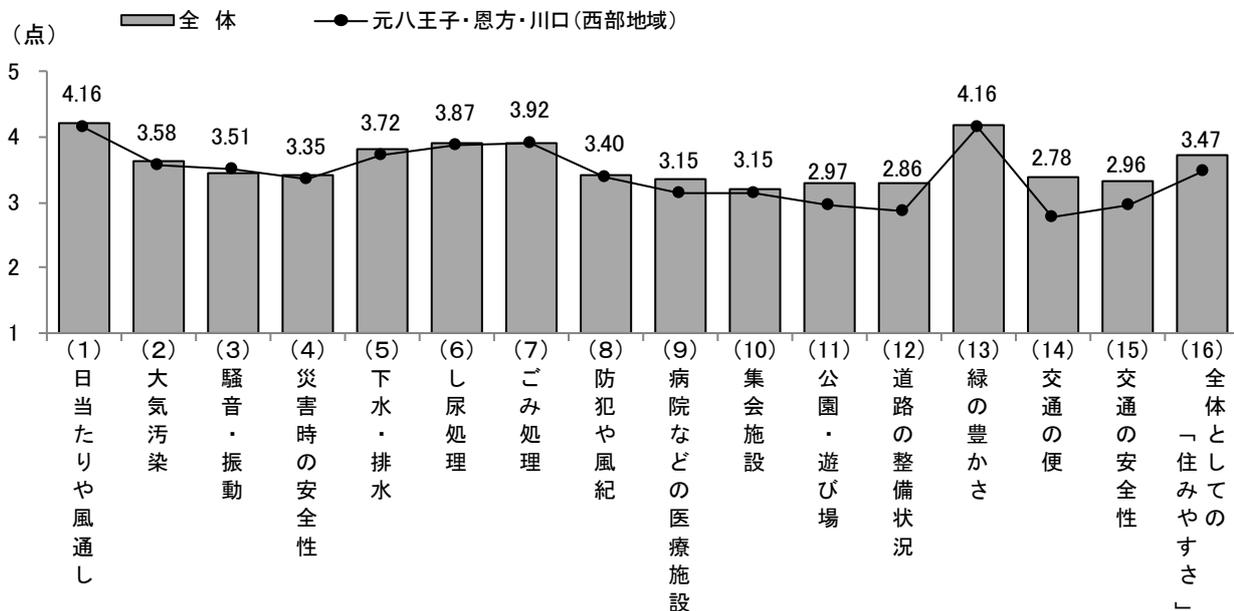
図1-6-4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中2項目で、最も差が大きいのは（3）騒音・振動（+0.06ポイント）となっている。下回っているのは16項目中14項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（-0.60ポイント）となっている。（図1-6-5）

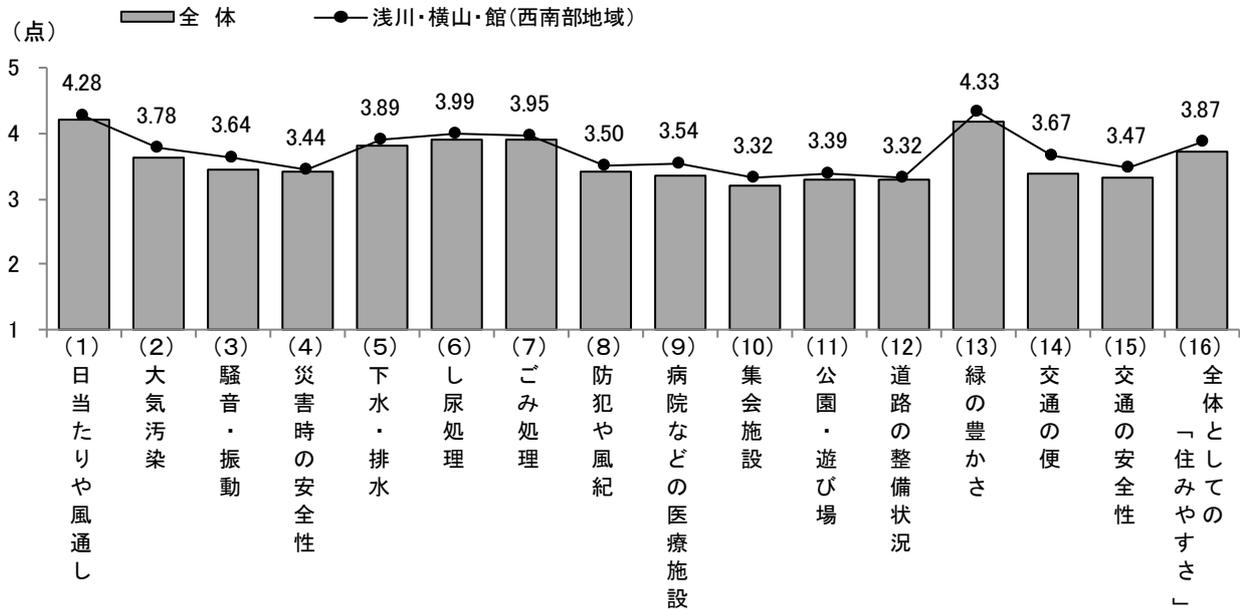
図1-6-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中すべての項目で、最も差が大きいのは(14)交通の便(+0.29ポイント)となっている。(図1-6-6)

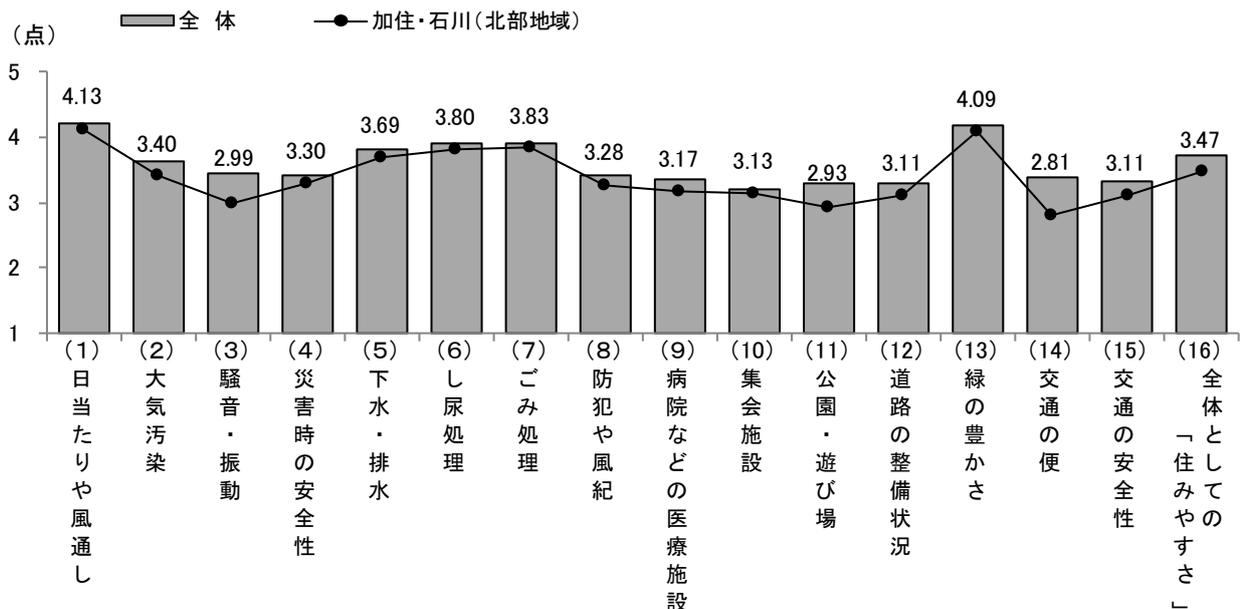
図1-6-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

市全体より下回っているのは16項目中すべての項目で、最も差が大きいのは(14)交通の便(-0.57ポイント)となっている。(図1-6-7)

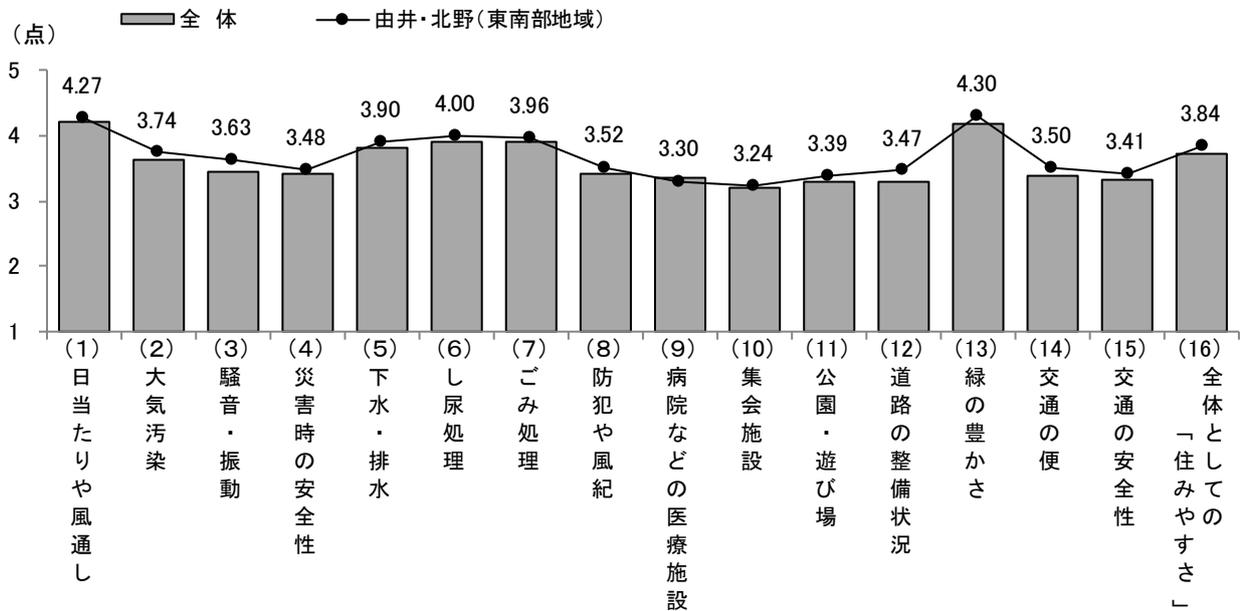
図1-6-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中15項目で、最も差が大きいのは(12)道路の整備状況(+0.19ポイント)となっている。下回っているのは16項目中、(9)病院などの医療施設(-0.06ポイント)の1項目となっている。(図1-6-8)

図1-6-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中15項目で、最も差が大きいのは(11)公園・遊び場(+0.43ポイント)となっている。(図1-6-9)

図1-6-9 生活環境の評価（加重平均）－居住地地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」

